



望山幽月
夜秋
泉清

とらやまの

燈の光を

かしの

あさけ

斑女園中秋

扇文楚王墓

上和琴耕

みづから

あつたは

あつたは

なつたは

種乃と

はつたは

ふたつ

を

まほしき

切能

そとく

いけむら

山崎

あふ

けり

あ

和回れり書ふ

うらみ浪り

ゆ糸

あそびくゆふ

まのあそふ

あそ

詠松契春

和歌

業廣

十^一う^二母^一り^二を^一あ^二ら^一む

ら^二紀^一る^二庭^一に^二松^一を

ら^二の^一花^二乃^一け^二ふ^一さ

免^二新^一耳

幽人生計群

山雪遠客素

中一樹春

くろくろしうつる

まはゆきの

あられやまらせ

あすもあつる

一聲山鳥曙

雲外萬點水

螢秋草中

中
心
也
ら
そ
の
山
路

多
く
し
り
の
不
と
し
る

六
戸
の
心
也

心
の
後
何
も
な
し

氣 壽 風 梳 新
柳 絲 水 消 波
洗 舊 若 巖

志 々 々 々 々 々 々 々

人のこころの荒れ

いつるまよひなりふ

多かる

時らす

西の海

水見ころ梅ころ

なふまふと成

うと紀色人右

おりのりふ

う終

懷忠偏得意至

孝自成 人換白

何種死命丹在

顯親王生猶有

母曹子豈北居

着白公庭翰應

知西取身

ひし月日此替を

えかきくわこ

三月の

ひしきり

ふ

わしきとられ

たりのふ乃

白紙

山崎徳右衛門

より及けぬ

か

きりぎりす

きりぎりす

ふとふと

を

山崎徳右衛門

仁徳天皇

法教

山見
東
好
冬
乃
乃

乃
乃
乃
乃
乃
乃

長えい子字活花

長政大屋此家の

市合

結園

長代

長

長

瓶波根の

昔はつらほ

うみとくま

く

中納言家持

その

あつを

は

あむ

に

妻乃野り

人よ 阿ふれき

志

は

あやふ

伊勢

今之乃山

伊奈納みせ

水一ゆき

きりぬき人志

河一ゆき

柿平人磨

保能くく東海か志乃

浦若河走費理尔鳴

系久禮乃布祢遠新

楚思婦

紀貫之

まろくちる木れく多

か場ハはせをよくと

を小まろく礼想

ゆふ控ゆりな

在原重平朝臣

在申り

とふれ

をりきて

うら

はくろの

を

のやあ

まろくち
場ハ

まろくち
し

山邊赤人

わが身をけりて

きつりあひたひ

まろふ浦りあふ

みらくれいあふ

あふ

素直法師

見まらけい

柳まらけい

かき

ふかの
の
あまのうせ

あま

ふかの
あまのうせ

傳心遍眼

そと心は六のまはれえ

まをむと玉かみ

うらうらかこころあそく

あやありのあそく

孫丸太人

松見

や海に

松りあそく

お茶あそく

まき

河紀あそく

町あそく

たそく

麻乃

悠あそく

紀友別

秋風より きたる玉つら

神乃の秘地 かのた

妻の終子

東

はな

ふ

を

士生志界

青河を志 人志志

はなを志

別志

あつは紀

う紀地ハ

けを

物

藤原高光

かきつ 宇ら屋

面みく 海へ

みせれ世 考ゆ

のふり 月へ

権中納言教忠

ひしと

念れ

かた

きり

河花みく乃ほ

らくろゆれ

と

中納言朝忠

冬事忠

冬事忠

冬事忠

人等身御

恨事之志

中納言道輔

人乃折也 尾に

冬事忠

冬事忠

冬事忠

小野小町

まふき

侍

うしろ

あつ

世中

人の

むし

あつ

あつ

大中法林宣朝片

子と誓ひてかき礼は

松念者ぬより

より

あつ

代や

むし

あつ

て

藤原仲文

まろく

まろく

青の若法師

物け 乃むまり

あふ

哉

ふ

中務

あまが場乃ぬき

はあてもこと思かな

に記のとなうことを

半あへぬ

平生忠見

悉くてふ

志は次

我名いさこ

は

身

たむむ

きくらに

うん

希人

不

尾河内躬恒

伊津色也子

浦々
人々

聖の

まの光

やまは

王女か

言

希人

り

平道威

常々

あ

林乃

花

今

河

物

志

心

上

所宮女侍

岩

琴乃

杉

移

あ

か

う

い

あ

は

源忠朝下

山崎屋久也此

常一つ也

三芳

伊波心也二家也

死より一

藤原敏行朝臣

風芸

秋末也

吉也

幼小

松方

也

加乳

多し

也

也

也

大申居頼基朝臣

心也悔之亦多世と云

免を承杖多し

津之末色流死云

天賞らけ死者

源宗平朝臣

常盤素頼

色こい海心

戸流のをと

東志保農起

常中留久

まともあり

源重三

お堀をいそいそ 浪乃

いそいそ 流れ

の

またあそ

おのぬ

おのぬ

な

藤原清白

あまのつゆ

ぬを井の浦よ

のれを津花

なやの雪のふ

かきこころ

あ

源信明朝臣

心志

ら

心志

心

何事々々

人々 活記也花

心

心

心

藤原興風

心 比貴里者

心

心

心

何事

何事

心

心

心

心

源順

水鏡面尔傳流月

みと残かうあしを

たふ死禁穢果

とたうふり汁は

三條院女院人左近

仲橋志

志

ふふ乃契

志

志を志

志

志の志

志

志

志

板東之真

みらむ 夜をくらへ

あふを 志を里

むす ありか

けり 命 玉は

若

坂上之真

見よ 聖乃山此

ゆきしもの新

あはれやそそ

不里海ふか理

清原之補

子也子乃河也

清井ふたふしつ

仲はて地物

人若ふた

此一帖者永菴法印

墨蹟也圖書肆某

清加澄鑑

天保五年丁甲午春日

榮菴法印業延



天保五年甲午歲春

寺町延師小路上

橘屋嘉助

書肆

富路三條上町

須磨勘定

